

- ◆ 風しん患者がさらに増加!
- ◆ 腸管出血性大腸菌(0157) 感染症が発生

1. 全数報告感染症の発生状況

- 一類感染症: 報告なし
 - 二類感染症: **結核 6 例** (肺結核 2 例, 結核性胸膜炎 1 例, 無症状病原体保有者 3 例)
 - 三類感染症: **腸管出血性大腸菌感染症 1 例** (血清型, 毒素型:0157, VT1・VT2)
 - 四類感染症: **レジオネラ症 1 例** (診断日 19 週 病型: 肺炎型, 年齢・性別: 80 歳以上・女性)
 - 五類感染症: **侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例** (80 歳以上・男性)
- 風しん 8 例** (20～24 歳: 男性 3 例, 25～30 歳: 男性 1 例, 30～34 歳: 男性 1 例, 40～44 歳: 男性 1 例, 50～54 歳: 男性 1 例、女性 1 例) [診断日 19 週に 1 例 追加]

詳細は「風しんの発生状況」を参照

全数報告感染症の週別および累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになっています。これらの届出のあった報告症例を診断された週毎に集計しています。なお、期日以降に届出があった場合は、再集計し、掲載しています。主な疾病を対象に各週の報告数および累積報告数を下の表に示しています。

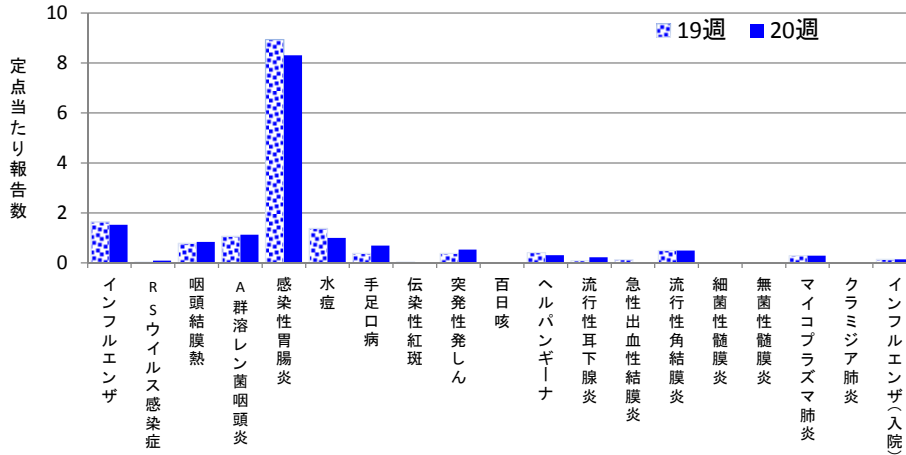
分類	疾病名	滋賀県				全国	平成24年累計*	
		18週	19週	20週	累計	累計		
		4/29～	5/6～	5/13～	～5/19	～5/19	県	全国
二類	結核	2	6	6	108	9,204	254	28,951
三類	コレラ	0	0	0	0	1	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	46	0	241
	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	1	4	285	37	3,765
	パラチフス	0	0	0	0	24	0	24
四類	E型肝炎	0	0	0	0	49	0	119
	A型肝炎	0	0	0	0	61	1	158
	オウム病	0	0	0	0	4	0	8
	つつが虫病	0	0	0	0	53	1	436
	デング熱	0	0	0	0	62	2	221
	マラリア	0	0	0	0	17	2	73
	レジオネラ症	0	1	0	2	248	10	898
五類	アメーバ赤痢	0	0	0	1	358	13	931
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	95	4	235
	急性脳炎	0	0	0	3	168	3	361
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	66	2	183
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	80	3	243
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	7	512	9	1,427
	ジアルジア症	0	0	0	0	29	1	72
	侵襲性インフルエンザ菌感染症**	0	0	1	1	18	—	—
	侵襲性肺炎球菌感染症**	0	0	0	2	240	—	—
	梅毒	0	0	0	1	389	1	891
	破傷風	0	0	0	0	133	0	117
	風しん	4	9	8	46	7,540	12	2,391
	麻しん	0	0	0	0	133	1	285

※ : 感染症発生動向調査事業年報暫定数 (国立感染症研究所感染症情報センター 平成25年3月現在)
 ※※ : 平成25年4月1日から対象感染症として追加

2. 定点把握の対象となる五類感染症の発生状況

- 定点患者報告総数は、今週は509例（先週525）でした。
- 報告数の多い感染症は、感染性胃腸炎、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の順です。
- 手足口病の報告が増えています（定点当たり報告数0.69・先週(0.38)）。
- インフルエンザ入院サーベイランスは、1例（1～4歳・男性）の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の前週・今週の定点当たり報告数



警報および注意報の状況

警報：咽頭結膜熱（警報開始基準値3、終息基準値1） 高島保健所管内（定点当たり報告数7.00）

定点把握の対象となる五類感染症の保健所管内別の定点当たり報告数

感染症発生動向調査事業において、滋賀県が指定した定点医療機関（指定届出機関）から報告される感染症を定点把握対象感染症と呼びます。週単位(月曜日から日曜日)で報告される感染症について、滋賀県および管轄保健所別定点当たり報告数を下の表に示しています（定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数）。

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県		保健所別(20週 5/13～5/19)						
		19週	20週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島
インフルエンザ (53)	インフルエンザ	1.64	1.53	2.64	1.20	1.14	1.88	0.29	0.57	3.67
小児科 (32)	RSウイルス感染症	0.03	0.09	0	0	0	0.40	0	0	0.50
	咽頭結膜熱(プール熱)	0.78	0.84	0	1.33	0	1.00	0	0	7.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	1.13	1.14	2.17	0.25	1.80	0	1.00	0.50
	感染性胃腸炎	8.94	8.31	5.86	8.67	8.75	12.20	9.25	8.50	3.00
	水痘	1.38	1.00	1.43	1.33	1.25	0.20	0.75	0.25	2.00
	手足口病	0.38	0.69	0.14	1.00	0	0.40	0.25	2.75	0.50
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0
	突発性発しん	0.38	0.53	1.00	0.17	0.50	1.20	0	0	0.50
	百日咳	0	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0
	ヘルパンギーナ	0.41	0.31	0.43	0	0	0.60	0.25	0.50	0.50
眼科 (8)	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.09	0.22	0	0	0.25	0.20	0.75	0.25	0.50
	急性出血性結膜炎	0.13	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹 (7)	流行性角結膜炎	0.50	0.50	0	2.00	1.00	1.00	0	0	0
	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0	0	1.00	0	0	1.00	0
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インフルエンザ(入院)*	0.14	0.14	0	0	0	0	0	0.14	0	

*平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり報告数)を掲載

赤字： 警報レベルの基準値(開始基準値または終息基準値)を超過
赤字： 注意報レベルの基準値を超過

3. 風しんの発生状況

- 報告数は、第19週が9例、第20週が8例と増え続けており、第1週からの累積報告数は**46例**となり、過去5年間で年間の累積報告数が最も多かった平成24年(12例)の4倍近くになっています。
- 第20週の保健所別報告数は大津市3例、草津2例、彦根1例、長浜2例です。
- 性別の発生状況は、男性が8割を占めています(男性38例、女性8例)。
- ワクチン接種歴については、接種歴が判明しているのは4例(2回接種1例、1回接種3例)で、接種歴無し12例および不明30例でした。
- 病型は、検査診断例が29例、臨床診断例が17例でした。

図1 年次別累積報告数

(平成20年第1週～平成25年第19週、H19.12.31～H25.5.19)

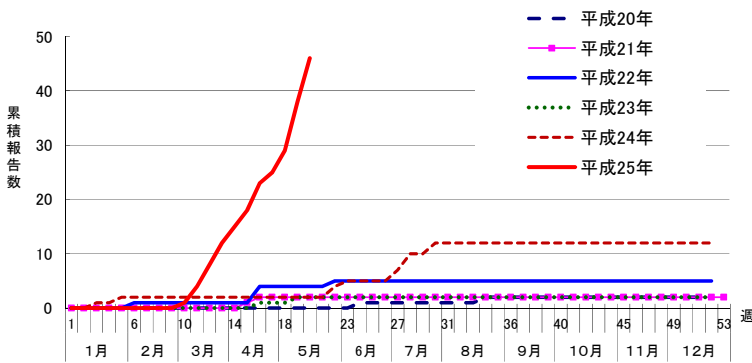


図2 年齢階級別の患者割合(滋賀県)

(平成25年第1週～第20週)

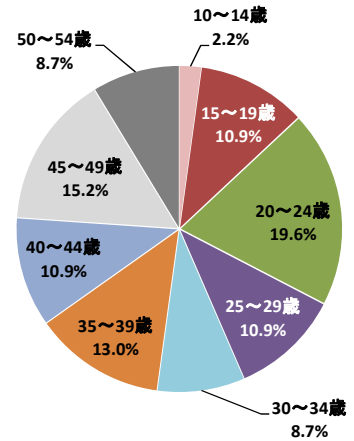


図3 週別・性別の報告数 (平成25年第1週～第20週、H24.12.31～H25.1.19)

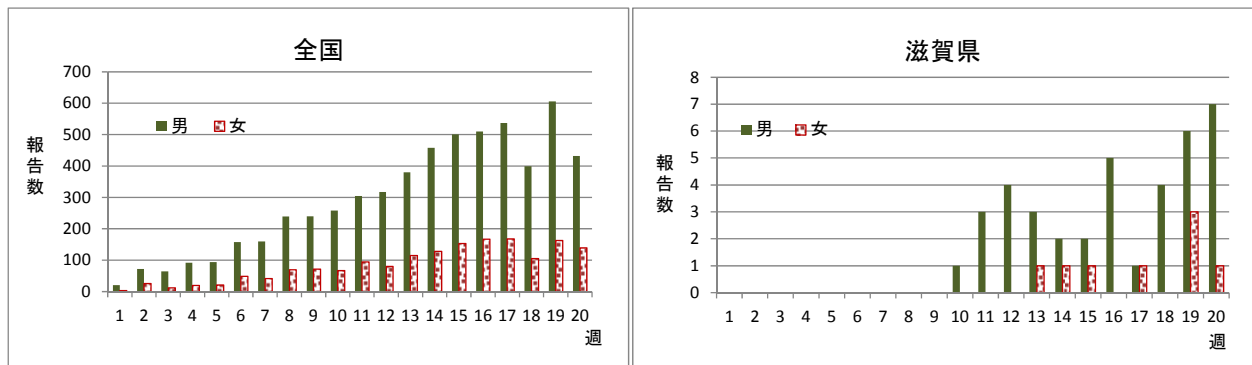
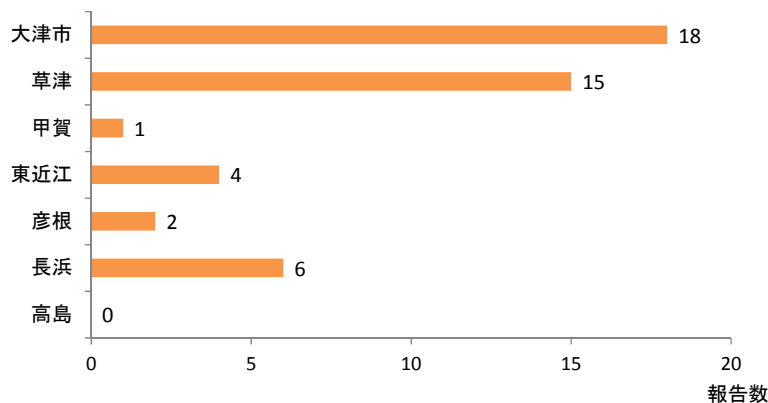
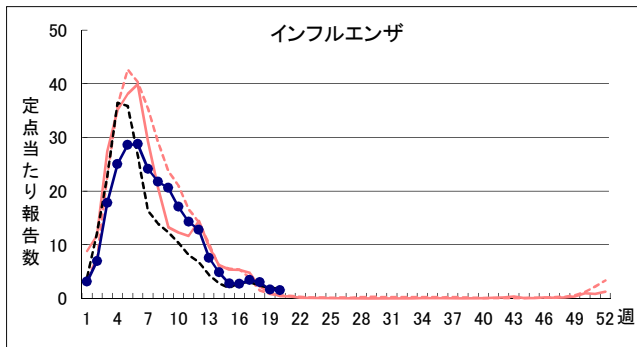


図4 保健所別の報告数 (平成25年第1週～第20週、H24.12.31～H25.5.19)

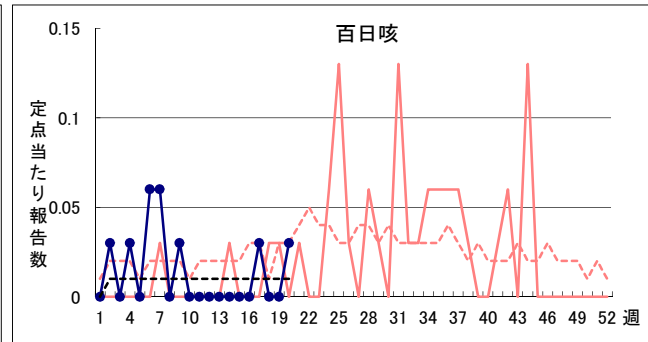
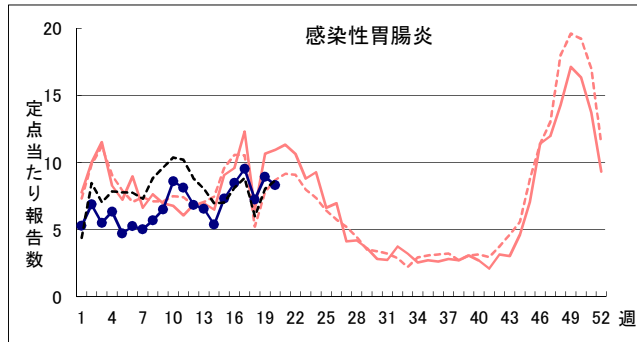
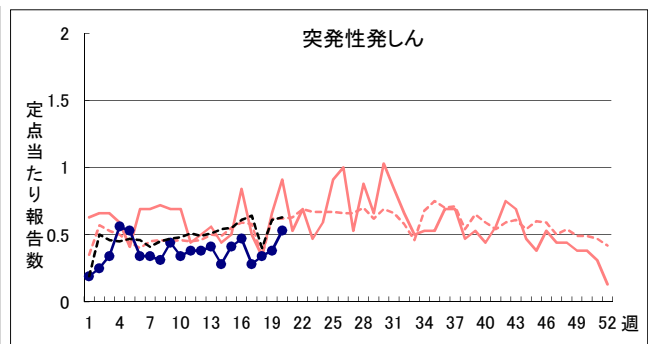
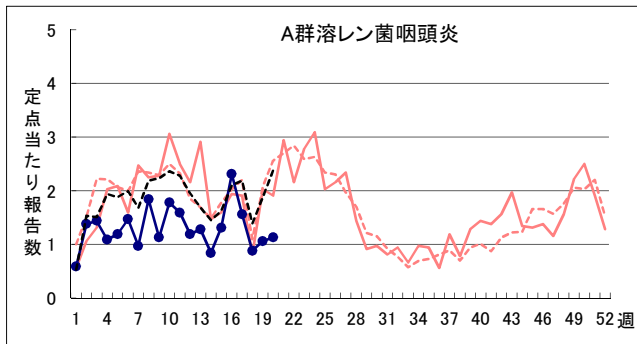
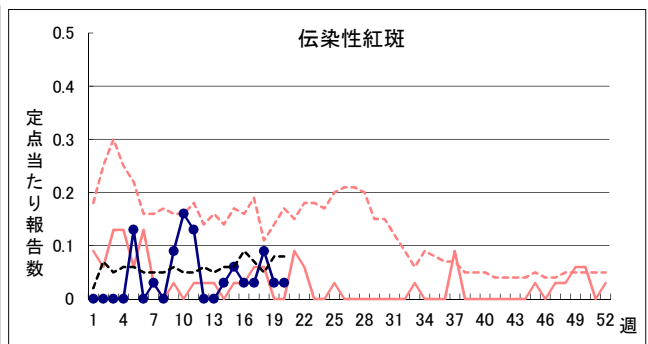
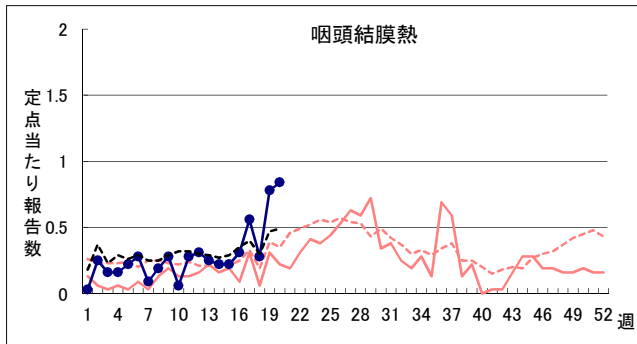
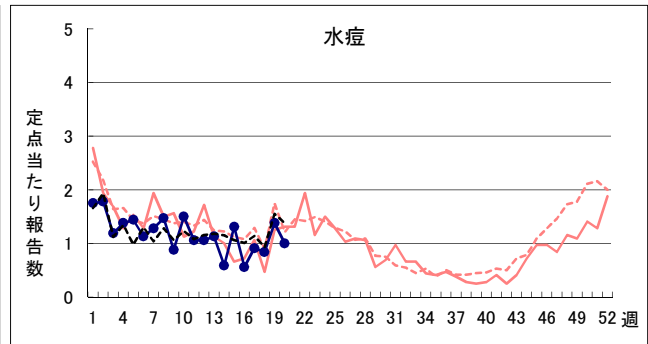
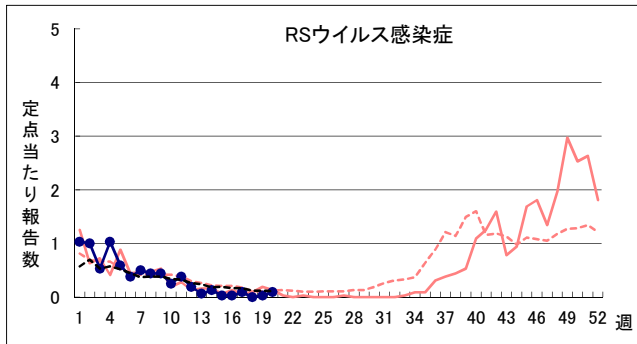


疾病別定点当たり報告数

(平成25年第20週、 H24.12.31～H25.5.19)



H24 [滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)
H25 [滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted blue line with dots)



疾病別定点当たり報告数

(平成25年第20週、 H24.12.31～H25.5.19)

H24 [滋賀 ———— 全国
 全国] H25 [滋賀 ●●●●●●
 全国]

